

広島県医師連盟ニュース

2025. 2. 17
第 37 号

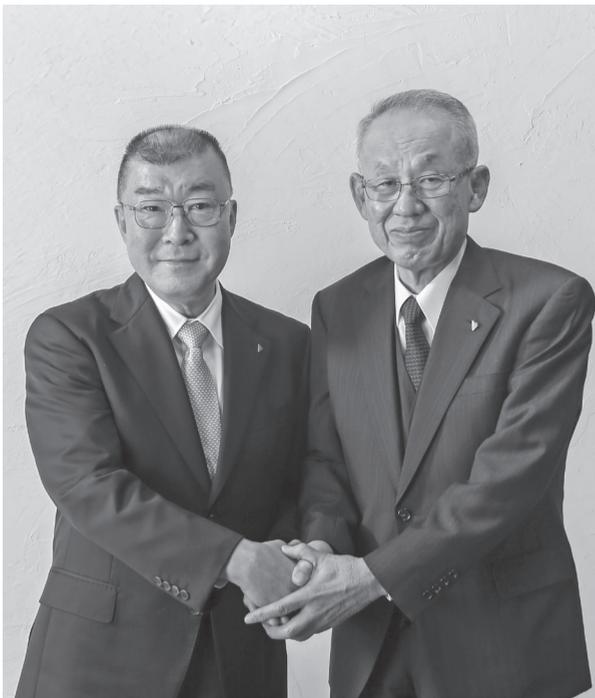
定価 1年400円
(但し県医連会費に含む)

広島県医師連盟ニュース
発行所
広島県医師連盟
〒732-0057
住所 広島市東区二葉の里三丁目2番3号
TEL 082(568)1522
FAX 082(568)1523

優れた医療・介護を すべての人へ、次世代へ

かまやちさとし先生とともに
広島県医師連盟も、オール広島で
医療・介護提供体制を守る！

広島県医師連盟 委員長 松村 誠



先生方におかれましては、平素より広島県医師連盟の活動に格別のご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

度重なる食材料費、光熱費等の物価高騰は、広く国民に大きな影響を及ぼしているところですが、とりわけ医療機関等は国が定める公定価格により経営するものであるため、制度上物価高騰の影響を価格に転嫁することはできず、経営努力

のみでは対応することが困難な状況が続いております。医療・介護現場の声を政治に届け、必要な政策を実現させること、そしてすべての医療・介護提供の基礎となる制度の変更改廃に我々の思いを反映させるためには、われわれ医師をはじめ、医療・介護提供を担う一人ひとりが強力にスクラムを組み、代表者を送り届けることが必要不可欠です。

今夏執り行われる第27回参議院議員通常選挙に向け、日本医師連盟は日本医師会副会長のかまやちさとし先生を組織内候補として擁立することを決定いたしました。われわれ広島県医師連盟も、医療・介護提供体制を堅持し、ひいては国民が安心して健康に過ごすことができる社会を守るため、かまやち先生を全力で応援してまいります。是非とも、先生方の温かいご理解、そして力強いご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

日本の医療が直面する課題と持続可能な未来への挑戦。日本の医療の仕組みは、誰もが平等に医療を受けられる国民皆保険が整備され、介護の体制と相まって国民の生命と健康を守ってきました。しかしながら、急速に進む少子高齢化と人口減少により、この仕組みの存続が危ぶまれていきます。人口が減少する地域で、地域医療や介護を維持するのは容易ではありません。地域における医療機関や介護施設の経営の安定、持続可能性の確保が強く求められます。地域の医療や介護の仕組みが一度壊れてしまふと、その修復はほとんど不可能と思われ、医療や介護がなければ人はそこに住むことができません。

さらには地域に必要な医療機関や介護施設の持続可能性の確保には、診療報酬、介護報酬での対応と適切な補助金がぜひ必要であり、この実現のためには、国政に携わるより多くの国会議員に、課題への理解と改善への賛同を求めなければなりません。私は、このために全力を傾注いたします。

「治療と介護の連携強化」今後の人口構成を考えますと、「治す医療」から「治す支える医療」への転換が強く求められ、医療と介護をいかに円滑に連携させるかが重要であります。医療から介護への一方通行ではなく、行ったり来たりした同時になければなりません。なるべく無駄のない形で新たな体制を作っていくことが求められます。

「次世代を担う子どもたちへの責任」次世代を担う子どもたちの健康と幸福を守ることが

は、私たちの社会にとって最も重要な責務の一つです。私は小児科医として、子どもたちだけでなく、保護者方々の不安や戸惑いをしっかりと聞きしながら日々診療にあたっております。少子化により子育てをはじめ経験させる機会が多いことを踏まえ、小児科医の役割は大きいと自負しています。さらに、子どもたちが自らの健康を守る力を身につけられるよ

くも、地域の実情に応じた医療機関や介護施設の集約化は避けて通れませんが、あくまでも住民の皆さんの理解と協力が不可欠であります。地域におけるきめ細かな合意形成の努力がなされなければなりません。

「治療と介護の連携強化」今後の人口構成を考えますと、「治す医療」から「治す支える医療」への転換が強く求められ、医療と介護をいかに円滑に連携させるかが重要であります。医療から介護への一方通行ではなく、行ったり来たりした同時になければなりません。なるべく無駄のない形で新たな体制を作っていくことが求められます。

「次世代を担う子どもたちへの責任」次世代を担う子どもたちの健康と幸福を守ることが

は、私たちの社会にとって最も重要な責務の一つです。私は小児科医として、子どもたちだけでなく、保護者方々の不安や戸惑いをしっかりと聞きながら日々診療にあたっております。少子化により子育てをはじめ経験させる機会が多いことを踏まえ、小児科医の役割は大きいと自負しています。さらに、子どもたちが自らの健康を守る力を身につけられるよ

広島県医師連盟の皆さまには、日頃より多大なるご支援を賜りまして深く感謝申し上げます。2024年1月30日、日本医師連盟執行委員会にて次期参議院選挙における組織内候補として擁立するご決定をいただき、以来、全国各地の医療・介護また福祉の現場に伺い、現場の極めて厳しい状況を改善するための施策が、まったく足りていないことを痛感いたしております。このままでは、医療や介護の仕組みの持続は困難であり、一度仕組みが壊れてしまえば修復は不可能だと感じます。我が国の医療や介護の仕組みは、諸外国に比べてとても優れておりますが、これを長続きさせ



日本医師会副会長
かまやちさとし

日本の優れた医療や介護の仕組みを長続きさせるために

かまやち さとし (釜范 敏) プロフィール

生年月日 : 1953年(昭和28年)7月5日生 群馬県高崎市出身
所属医師会 : 群馬県医師会
開設医療機関 : 小泉小児科医院(群馬県高崎市)

学歴
1972年 東京教育大学附属 駒場高校(教駒) 現)筑波大学附属 駒場高校 卒業
1972年 日本医科大学 医学部 医学科 入学
1978年 日本医科大学 医学部 医学科 卒業

経歴
1978年 日本医科大学付属第一病院 小児科 入局
1988年 小泉小児科医院 院長 (~現在)
1997年 高崎市医師会 理事 (~2001年)
2001年 高崎市医師会 副会長 (~2005年)
2005年 高崎市医師会 会長 (~2011年)
2011年 群馬県医師会 参与 (~現在)
2014年 日本医師会 常任理事 (~2024年)
2024年 日本医師会副会長 (~現在)
2020年 新型コロナウイルス感染症対策分科会構成員 (~2023年)
2020年 新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード構成員 (~2024年)
2023年 新型インフルエンザ等対策推進会議委員 (~2024年)

免許・資格など
医師免許、医学博士
日本小児科学会、日本小児科医会、日本小児神経学会 会員
たかさき春まつり実行委員長

その他
趣味: 阿波踊り(上州高崎どですけ連2001年より所属)、茶道
家族: 妻、一女、孫ひとり
2024年6月22日現在

う、年齢に応じたヘルスリテラシー教育の重要性をさらに広めていく必要があると感じています。

学校や地域での健康教育の充実、予防接種の推進、栄養指導など、子どもたちが健全な成長を遂げるための施策を強化してまいります。これらの取り組みは、未来の日本社会を支える基盤であり、私たち全員が取り組むべき共通の課題だと思います。

医療従事者の働き方改革の推進

医療の質を守り続けるためには、医療従事者自身の健康と生活の安定が欠かせません。医療従事者が心身ともに健康であることは、患者への適切なケアを提供する上で大前提です。時により医療現場が過酷な労働環境になる場合がありますが、

ありますが、医療従事者が適切な休息を確保できるよう、働き方改革を強力に推進してまいります。

処遇の改善、託児所の充実といった現場の声を政策に反映し、環境を整備してまいります。

現場の声を政策に生かす架け橋として私は、これまで医療や介護現場の厳しい状況をつぶさに拝見してきました。現場の状況を正確に国政の場に伝え、一人でも多くの国會議員

の方に現場の窮状をまず理解していただき、改善の施策に賛同していただくための架け橋として活動を続けてまいります。

結びに

私が掲げる医療政策には、多くの課題と困難が伴います。しかし、私は現場と国政をつなぐ架け橋として、日本の優れた医療や介護を持続可能な形で次世代に引き継ぐことを使命としてまいります。広島県医師連盟の先生方、そして全国の医療関係者とともに、安心して暮らせる社会の実現に向けて力を尽くしてまいります。皆さまのご支援こそが私の活動の原動力です。今後とも温かいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

広島県医師連盟

LINEで応援!



このQRコードの上をスマホをかざして読み取ってください!

よりよい医療のための大切な情報をお届けしてまいります。

医師 日本医師会 副会長 **かまやち さとし**

第50回衆議院議員総選挙のご報告

令和6年10月に執り行われた第50回衆議院議員総選挙について、広島県医師連盟・支部からの支援希望をふまえ、執行委員会の協議を経て広島県内6つの選挙区において合計7名の推薦を行いました。

選挙区	候補者氏名
小選挙区	候補者氏名
広島県第1区	岸田 文雄
広島県第2区	平口 洋
広島県第3区	斉藤 鉄夫
広島県第4区	寺田 稔
広島県第5区	小島 敏文
広島県第5区	佐藤 公治
広島県第6区	小林 史明

令和6年10月27日(日)の投票の結果、広島県医師会として推薦した候補者7名のうち、5区で立候補されました小島 敏文先生が惜しくも落選されましたが、ほか6名の候補者は全員が小選挙区または比例で当選されました。広島県医師連盟では、引き続き、市郡地区医師連盟・支部の皆様とともに、県内各区選出の国會議員、各地方自治体首長や議員と顔の見える関係を築き、医師が安心して医療に取り組むことができる環境、医師会が目指す医療政策を実現するために必要な政治活動を行ってまいります。

「各候補者への訪問・激励の様子」



令和5年 広島県医師連盟監査会

令和6年3月8日(金)広島県医師連盟の令和5年決算について監督者による監査が行われた。事業報告並びに収支報告について説明し、いずれも正確妥当であることが認められた。

広島県医師連盟 収支報告書 (令和5年分)

自 令和5年1月1日
至 令和5年12月31日

収入の部		支出の部	
	(円)		
個人負担金 (※)	26,040,000	政治活動費	30,736,000
寄付	7,674,000	組織活動費	2,583,000
交付金(日医連)	7,674,000	選挙関係費	1,050,000
選挙活動関連金	0	その他の事業費	0
その他寄付金	0	寄付・交付金(日医連負担金等)	27,103,000
雑収	0	その他の経費	0
未収金	△ 42,000	事務所費	2,703,161
		旅費交通費	247,031
小計	33,672,000	通信運搬費	915,938
前年度繰越金	28,984,041	消耗品費	7,810
合計	62,656,041	印刷製本費	185,900
		什器備品費	0
		委員会費	202,316
		顧問料	660,000
		雑費	484,166
		その他の支出	32,420
		預り金	32,000
		未払金	420
		小計	33,471,581
		次年度繰越金	29,184,460
		合計	62,656,041

(※) 個人負担 21,000円×1,240名=26,040,000円

貸借対照表

(令和5年12月31日)

1. 資産の部	
(1) 流動資産	
(イ) 現金預金	29,184,460
広島信用金庫 普通預金	29,184,460
(ロ) 未収入金	42,000
流動資産合計	29,226,460
2. 資本・負債の部	
(1) 流動負債	
未払金	0
流動負債合計	0
3. 差引正味財産	29,226,460